

日立アロカメディカル
充実した機能と柔軟なスタイルを兼ね備えた
超音波診断装置「Noblus(ノブルス)」発表
(2012/5/23)

日立アロカメディカル(株)は、超音波診断装置「Noblus(ノブルス)」を発表した。今や超音波診断装置は、医療に必要不可欠なものになり、検査室以外でも活躍するシーンが多くなっている。Noblusはそのようなニーズに応えるために誕生した製品。ノートパソコン型の超音波診断装置本体と、搭載台を組み合わせることで、柔軟なスタイルを実現している。

また、Real-time Tissue Elastographyなど機能面も充実しているため、使用シーンだけでなく、臨床領域を選ばず「信頼の検査」を行うことが可能である。なお、日本国内においては2012年7月から販売活動を予定している。

<主な特長>

- 充実の機能とクリアな画質：
 - ・日立独自のエンジンUltra BEがクリアな画質を実現。
 - ・Real-time Tissue Elastographyなどの詳細な評価に欠かせない機能を搭載。
 - ・Single Crystal探触子に対応し、高感度・広帯域を実現。

- 様々な使用シーンにフィットする柔軟なスタイル：
 - ・搭載台を使用すれば、通常の立位・座位の検査に対応。
 - ・操作パネルを跳ね上げる独特の収納スタイルで、机上に設置していても使用しないときは省スペースバッテリーの搭載。
 - ・ワイヤレスDICOM対応で、院内回診のために移動する際もスムーズ。
 - ・モニタを旋回・チルトさせることが可能で、検査者の身体的負担を軽減。



日立(Noblus)